



死亡災害事例

墜落 1

事故の型

墜落・転落

業種

建築工事業

被災者

とび工(20代)

経験年数

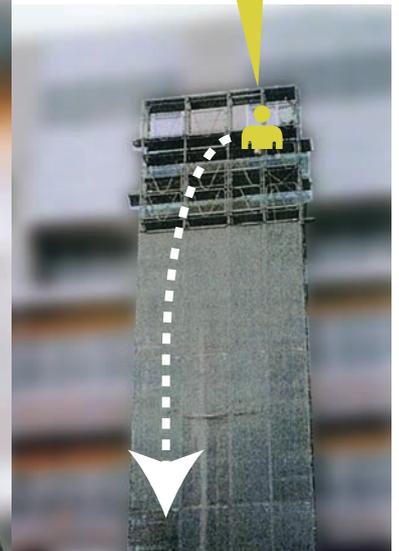
1年以上5年未満

発生状況

手すり先行工法(手すり据置式)を用いた外部足場の解体作業中、足場17段目の床上で空の吊袋を引き上げていた時、吊袋が下方にて引っ掛かり、足場外側の手すり枠に体重をかけて引き上げようとしたが、手すり枠の固定金具6ヶ所の一部が取外されていたため、手すり枠が外れ約31mの高さから墜落した。
(平成21年11月)



この位置から落下



※この足場に使用された先行手すり枠は、(一社)仮設工業会の認定から除外されています。

原因と対策

(原因) 手すり先行工法を前提にした作業手順に反して、足場材を降ろすため手すり枠の金具を一部外していたこと。

(対策) 足場の解体作業にあたり、作業手順を守るとともに、墜落の恐れのある個所では安全帯の使用を徹底し、作業主任者がその使用状況を確認すること。